

シナイモツゴを守るシナイモツゴ郷の米

シナイモツゴ郷の米づくり手の会
シナイモツゴ郷の会

吉田千代志
根元信一



シナイモツゴが棲む ため池のきれいな水を使い、減農薬・減化学肥料で栽培した安全・安心・美味しいお米です。

NPO法人シナイモツゴ郷の会から現地確認調査に基づいた認証を受けています。

取り組み内容

- 1 シナイモツゴ郷の米の生産と販売
- 2 ブラックバスの防除
 - ・・・ため池の池干し-バス完全駆除を毎年実施、2015年までに里山からバスを一掃
- 3 アメリカザリガニの防除
 - ・・・ため池のアメリカザリガニを連続捕獲装置で捕獲
- 4 シナイモツゴの保全活動
 - ・・・シナイモツゴ放流会を共催
- 5 小川の生物モニタリング調査
 - ・・・生き物観察会に参加
 - ①おおさき生き物クラブ
 - ②黎明中学校小川の観察会



里山のため池



シナイモツゴ



ゼニタナゴ



フナ類



ミナミメダカ



ヨシノボリ類



ギバチ



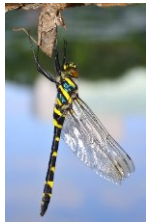
タガイ



アジアイトトンボ



トンボ類
ヤゴ



オオヤマトンボ



ジュズカケハゼ



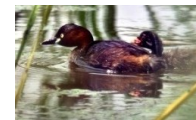
ヒガシマドジョウ



スジエビ



オオタニシ



カイツブリ

旧品井沼周辺ため池群に生息する絶滅危惧種と在来種

絶滅が危惧される5種の魚類と2種の二枚貝（タガイ、ヌマガイ）等多数の在来者が生息

地域住民が大正初期まで品井沼の魚類を毎年放流し晩秋に池干しして回収し冬季の食料としていた。長い間、地域住民は農業ため池を生け簀代わりとして使用していた。その後も、保全管理し好適環境を維持してきたため、品井沼由来の多くの魚類が生息している。

ブラックバス退治を継続実施、里山から一掃 NPOシナイモツゴ郷の会と連携



ため池のブラックバスを池干しで完全駆除。2007～2017年に地域ぐるみで毎年実施、里山のため池と周辺の小川からブラックバスを一掃しました。

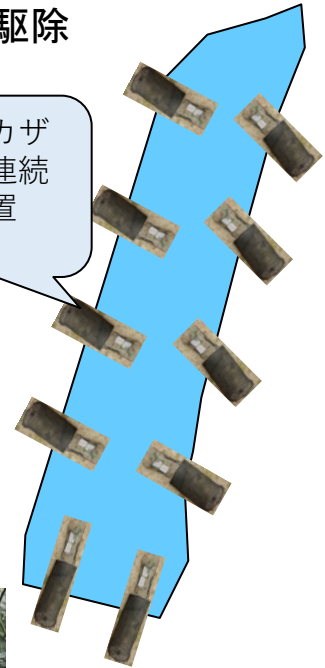
アメリカザリガニ駆除を開始

NPOシナイモツゴ郷の会と連携

だれでもできる連続捕獲装置を使い
週1回の作業でアメリカザリガニを駆除

アメリカザリガニ連続捕獲装置

1,000m²の中規模ため池に11基を設置し1週間に1回捕獲回収。



里山の水辺で豊かな自然をとりもどすため、2020年にシナイモツゴ郷の会と連携してアメリカザリガニ退治の活動を開始しました。



シナイモツゴ放流会6月26日 大崎市鹿島台の里山のため池、鹿島台小57名、小牛田小24名の里親が県内4小学校と2企業が育てた300尾のシナイモツゴを放流

小川の生き物観察会・モニタリング調査

大崎市内小中学生向け（NPOシナイモツゴ郷の会と共催）



おおさき生き物クラブ小川の生き物観察会 7月20日

- ①50名が参加、②、③防除ため池を水源とする小川で生き物調査
- ④、⑤学童農園で採集した魚を水槽観察 ⑥参加者の記念撮影